

ト
ト
ト
ト
ト



おやすみ...

おやすみ...

お前は体力も
根性も闘争心も
足らん

これは
指導なのだ

アッ

いつものように
気合を
注入してやる

あ

アッ

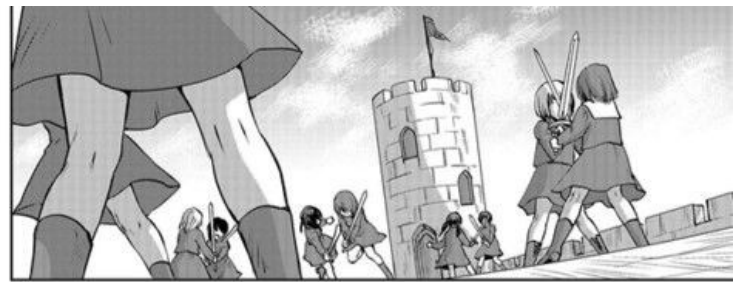
ありがたく
受け取るがいい

あ
あ

アッ

アッ



















どうだ！
感じるか？
屈辱だろうか？

だが意に反して
体は反応してくるのだ



今まで何人かの生徒らを
手にかけてきたが
皆最初は嫌がるものの
最後は簡単に受け入れる
ようになるのだ

そら、ジャンヌ！
お前もじきにな！

ああ…夢のようだ
密かに焦がれた
お前に今こうして
思いを述べられる
というのだからな！







あの恐ろしい
オオカミたちに
太刀打ちできるのか！



女の手ばかりの
討伐隊は難重！

牛馬に
闘争だけじゃ……



えーあーうん
大丈夫
アリアド……



……

大丈夫？



手ごたえ……
両腕はあるー

オオカミ

……

白雪隊

……全滅……!?


白雪隊が……





安心しろ…お前を
あのような世迷人には
しない





…先生は…
オオカミに拐われたらしい
ということて
森の行方不明者の
名簿に載った

ただ…行方不明者が
生きて戻った例はないという



クーデルカ!

ああ!
ホントに……
兄様なのですね?



良かった!
無事だったか!

ああ……
兄様……
会いたかった……



でもダメ……
来ては



何を言ってるんだ
クーデルカ?

どこだ?
姿を見せてくれ!



ダメです……
見ないで……

お願い……
兄様……



五匹目!!

せっかくの
この日のためのドレスが
台無しだわ







乱暴に
オオカミの股間のものが
先生の中に入ってる...



びびん



おはは

先生が
オオオオの時期の
間に入っている

先生に
オオオオの時期の
先生の手に入ってる



いぢぢぢぢ!



犯せ!

人の女を!





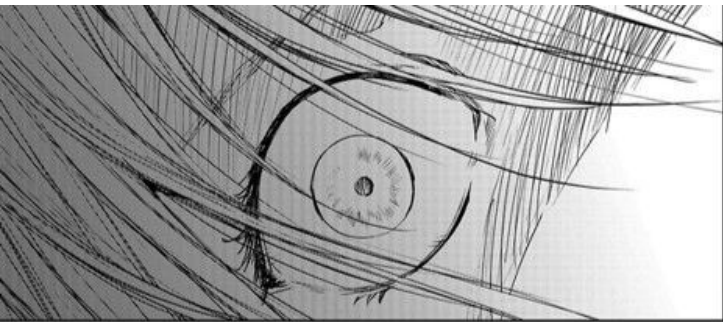


い...いの間...
囲まれている!



見ないで……!





ああ！
そだった！

フッ



こんなこと
だった
……ってね

フッ

フッ

フッ

フッ
フッ
フッ





なんと!
明日来るのか!



お子さんですか?
強面の大臣も
人の親なんですねえ





あいつらの後で拾った
オオカミの右手を
何の気なしに付けた
わけだが



動く!!
動くぞ!!
まるで自分の
腕のようだ!!

ワキ

ワキ

それに...どうした...とか
力が...体の底から
湧いてくるようだ!



ハハハ...そうか 俺は
選ばれたのかも知れぬ
— いやそうだ!
そうに違いない!



これは驚いた!
まさか!



あの女にひと泡
吹かせてやれる!

.....
これなら...

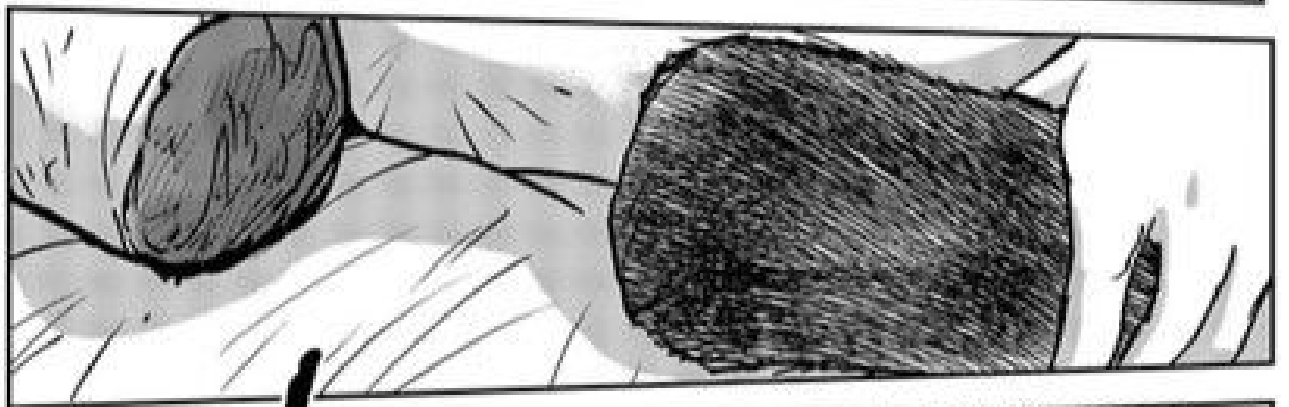
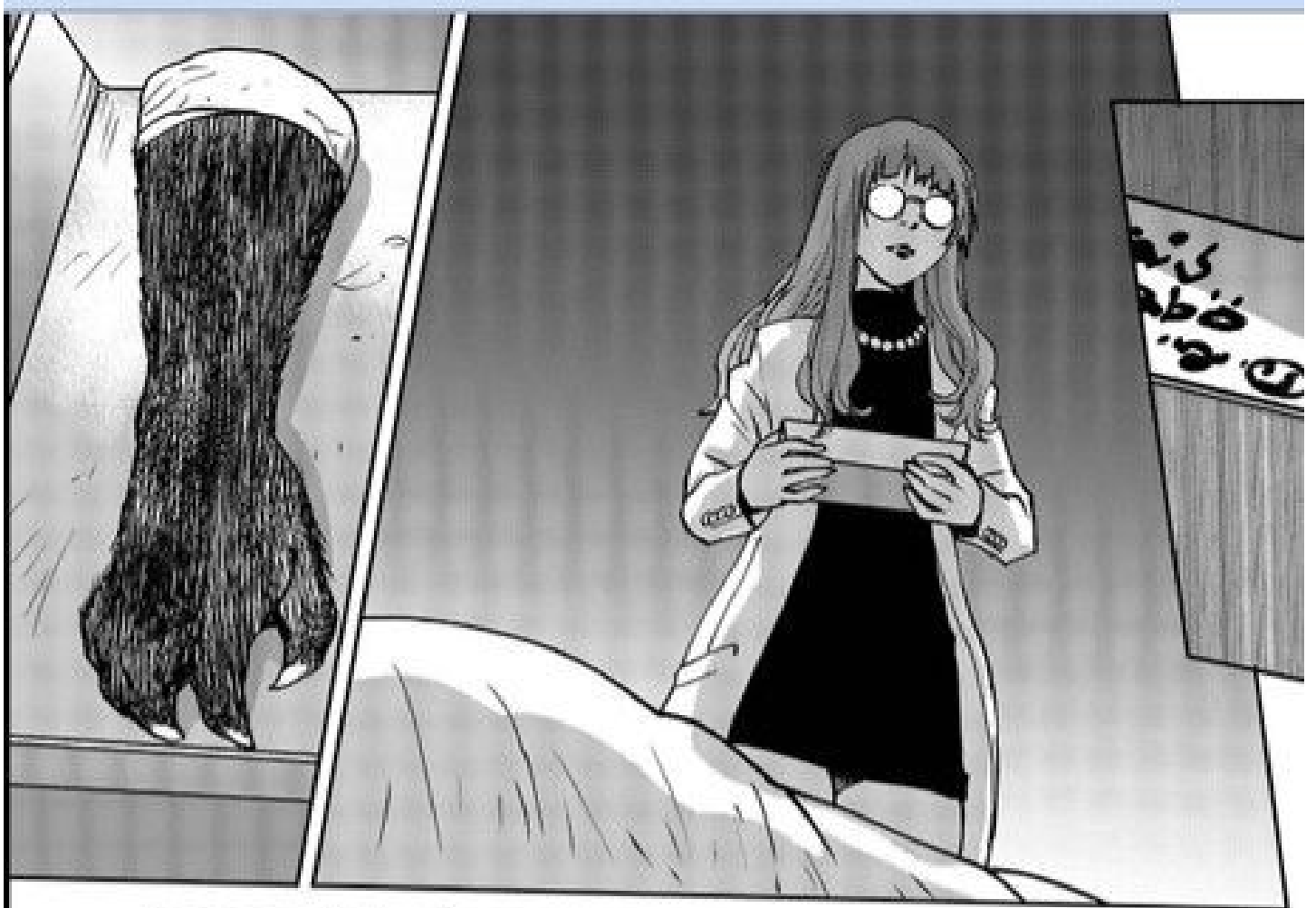
この俺が
オオカミの腕を
.....!



ククク...

まだ使えそうじゃー
ないか...?

クククク.....





でも
数滴の血でこれだ

人の体にくっつけられ
まあそりやとんでもない
ことになるよね



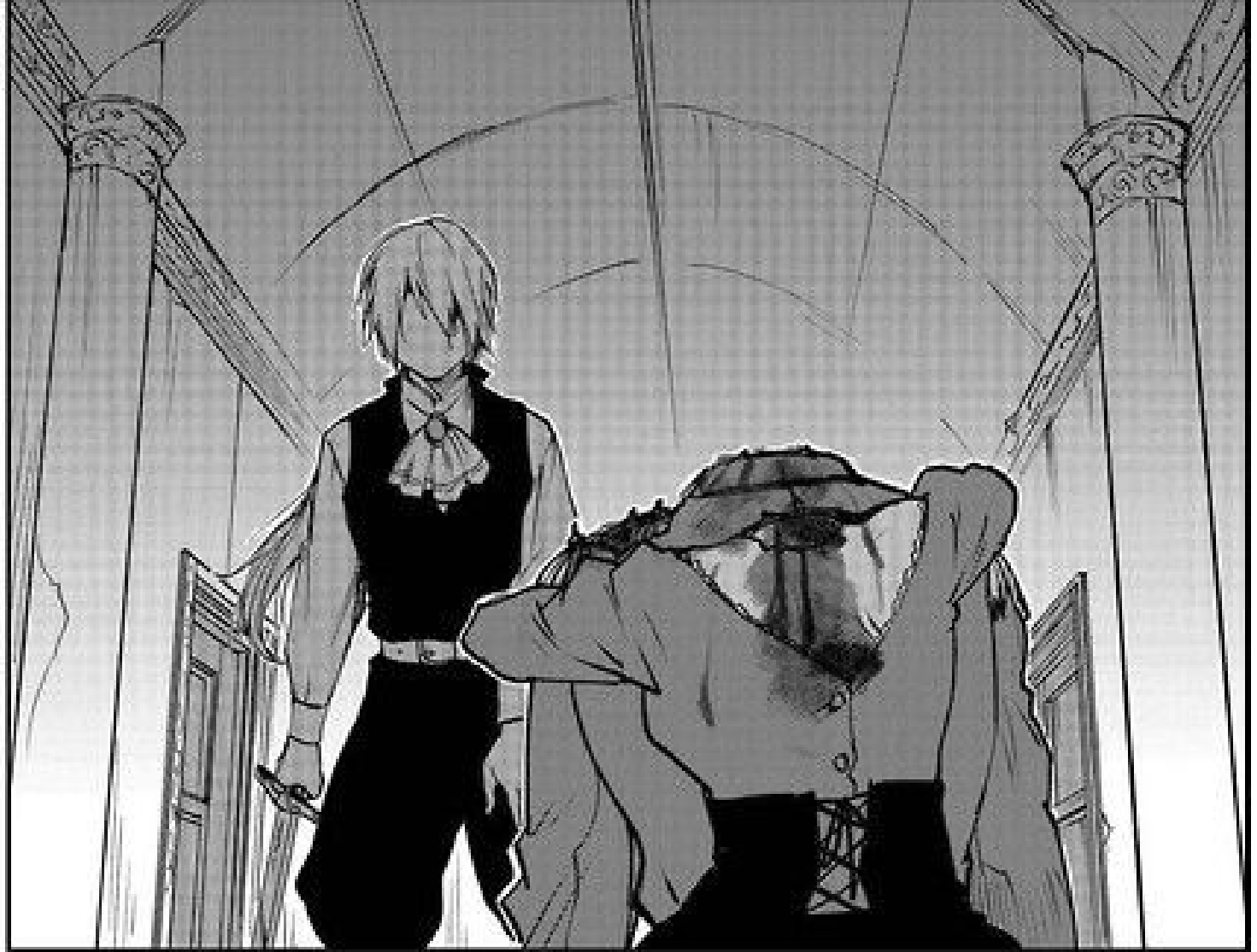
!!

ガク

大丈夫だよ
すぐに動かなくなる

ガクガク

ガクガク





それ以上動けば
死ぬわよ

キラッ



私の開発した
この暗視ゴーグルなしで
私が見えてるなんて!

さすがね
ジャンヌ・フランソワ!

あんたが持ち帰った
例のアレの件よね

お茶
どうぞ

なにか
わかったのか?

まあね...まあ
お茶でも飲んで



あの女だけは許さない！
才しの右腕を奪った
あの女だけは！！

裸にして
体中を腫めまわして
犯して、最後に手錠をきくらせ
動けぬベットにしてやるー





それは初めて見る

とても恐ろしくて
多分 ひどい光景……

怖くて……

足がすくんで……

一歩も動けなかった
……



先生っ!!

かすかに聞き取れた
その言葉に……

弾かれるように
走り出した

逃げて!!



ウグ!

ゴッ

にげ……て

メイ……ミー……



それは初めて見る

とても恐ろしくて
多分 ひどい光景……

怖くて……

足がすくんで……

一歩も動けなかった
……



先生っ!!

かすかに聞き取れた
その言葉に……

弾かれるように
走り出した



逃げて!!



にげ……て

メイ……



まさか
人と交わることで
こんな力か？

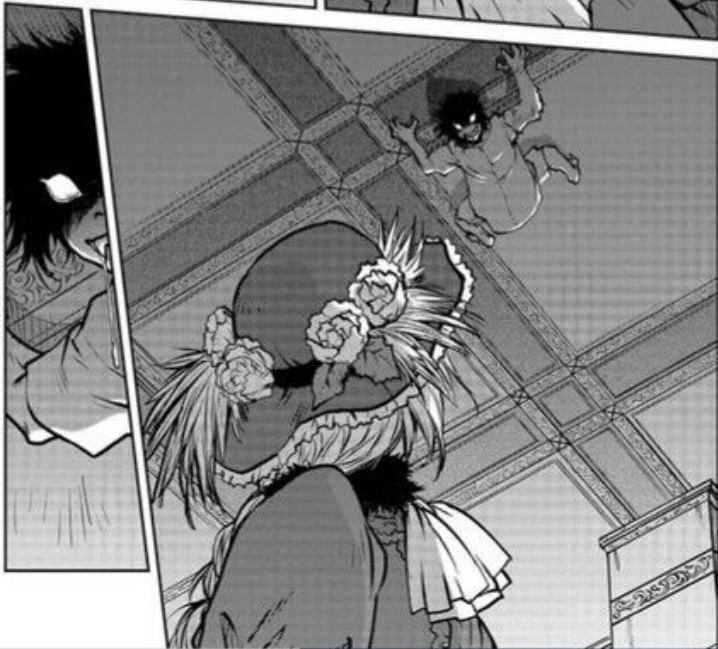
そのとき
人の能力する
はじまり



今まで考えた
こともなかった



くはは
どうした？
かすりもしないぞ



兄様……
やあっと見つけた
くれたー！

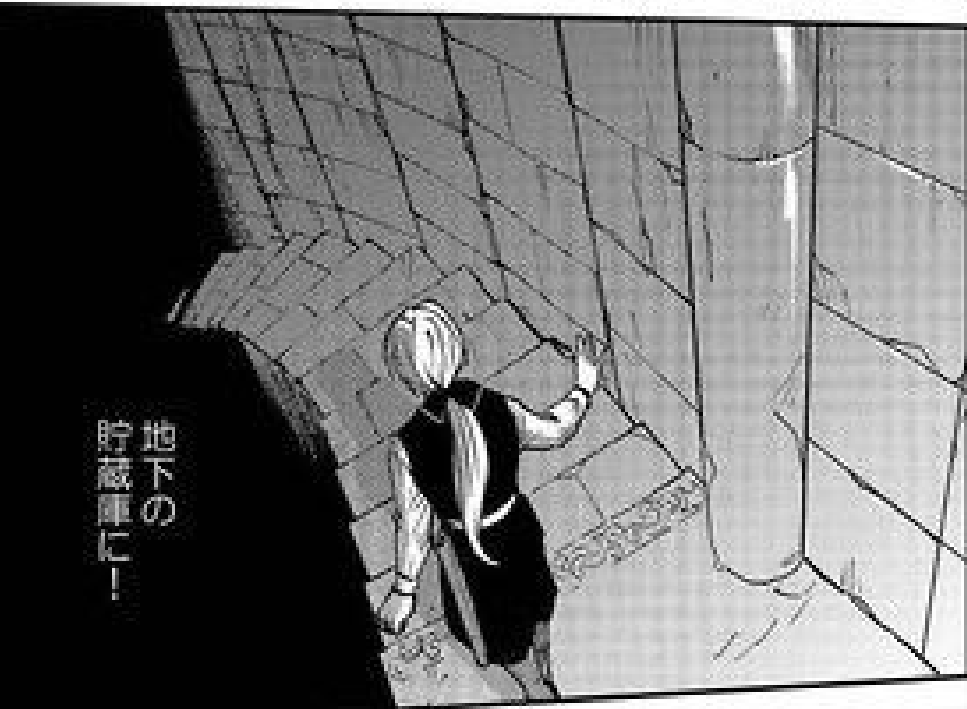
クーデルカは
すうっと待って
いましたのよー！



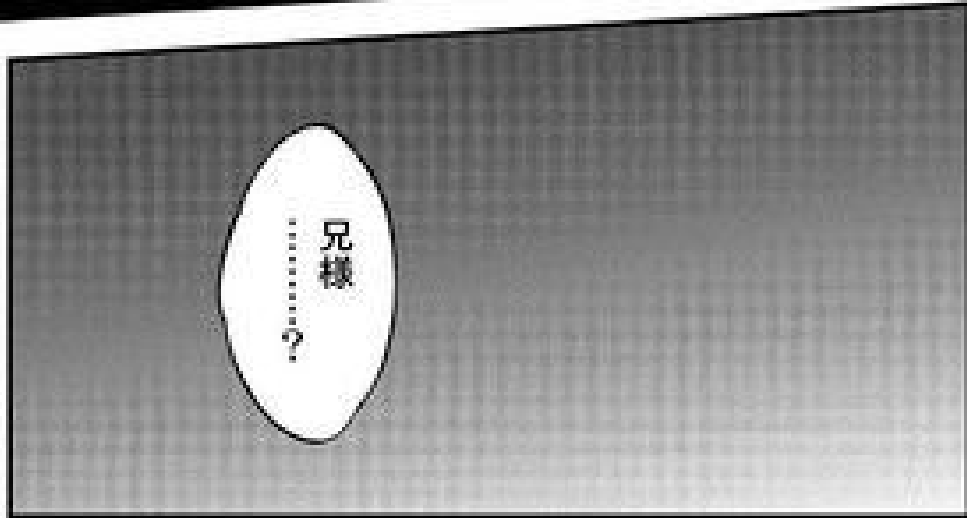
クーデルカは
ゆづも
あつちを覗いてた



あの明るく
屈託のない
笑顔に似つかわ
しない



地下の
貯蔵庫にー！



兄様
……？



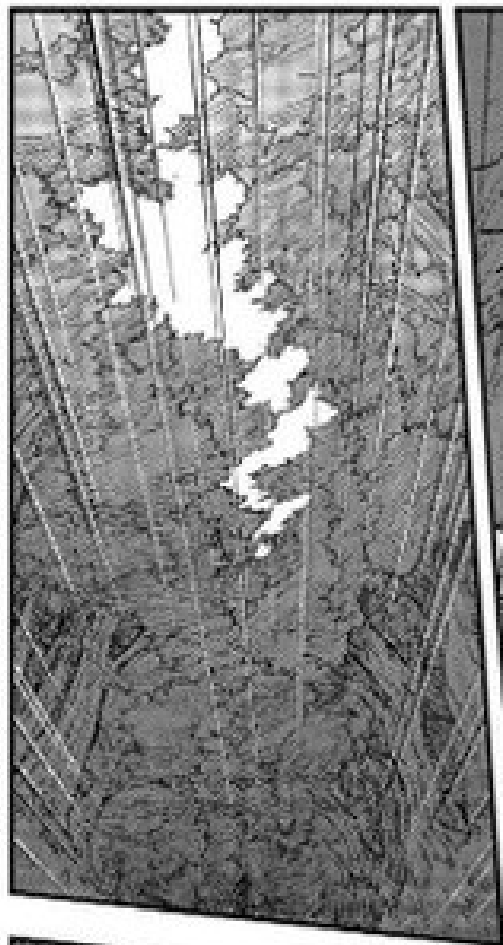
オオオ

ン

オオ
オオ
オオ

今日はやけに
オオカミの声が
近くに聞こえる

何何



キョア

誰かが
襲われている！

えんぐり!!





あの子に
助けられる
とはね…



メービーー!



やあー



やったー!



王妃の幻術か!?



くっ! 皆
構えろ!



オオオ...

この暗さでは
人の目では
圧倒的に不利だ!

王妃はこれを
図ったのか!?



オオカインだ!!



おおお
これはたまらねえ！

いい乳房じゃ
ねえか
思ったとおり
オレ好みだぜ！

アハハハ

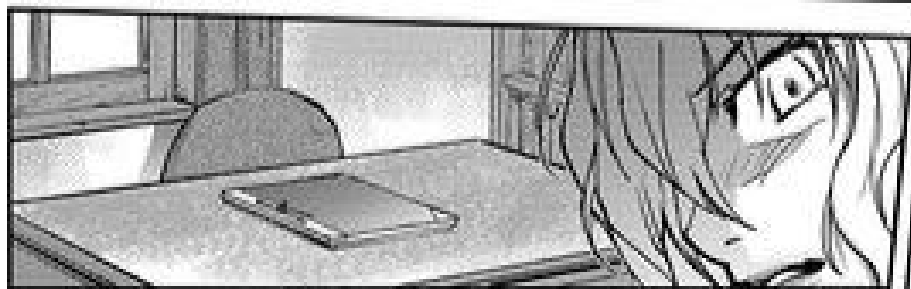


事務長……
ヘクトル!!



ヘクトル!!

カッ



カッ
カッ



ふっ
ちゅ
う



ふっ
ちゅ
う



ふっ
ちゅ
う



ふっ
ちゅ
う



これは……
一体どうしたのだ！

何があった！
クーテルカ！



クーテルカの腹は
醜くフクフクと膨れ
上がっていた



兄さまが出立して
しばらくして



その彼はすなわに
衛兵に斬り殺されたの
だけ……私は……
私のお腹には……

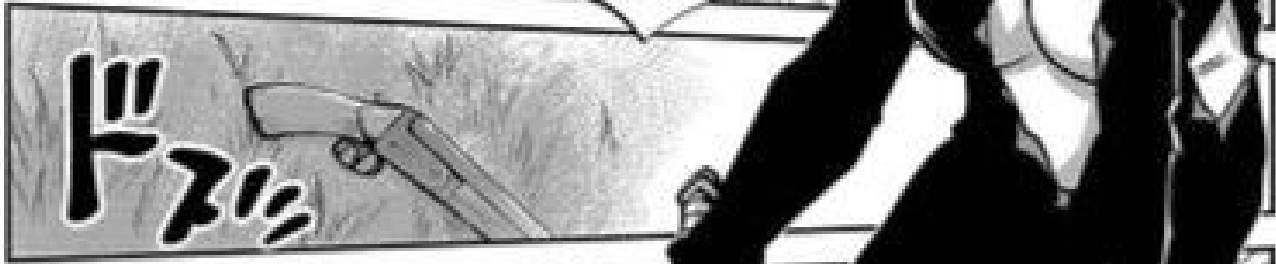


突然狼が城に
入ってきて……

私を……！



うははは！
いい格好だなジャンヌ
もっと刺いでやる！
丸裸にしてやるぞ！



ドズン



ハアアア！



グ
キ





こりやひどい
…一体誰が…!!

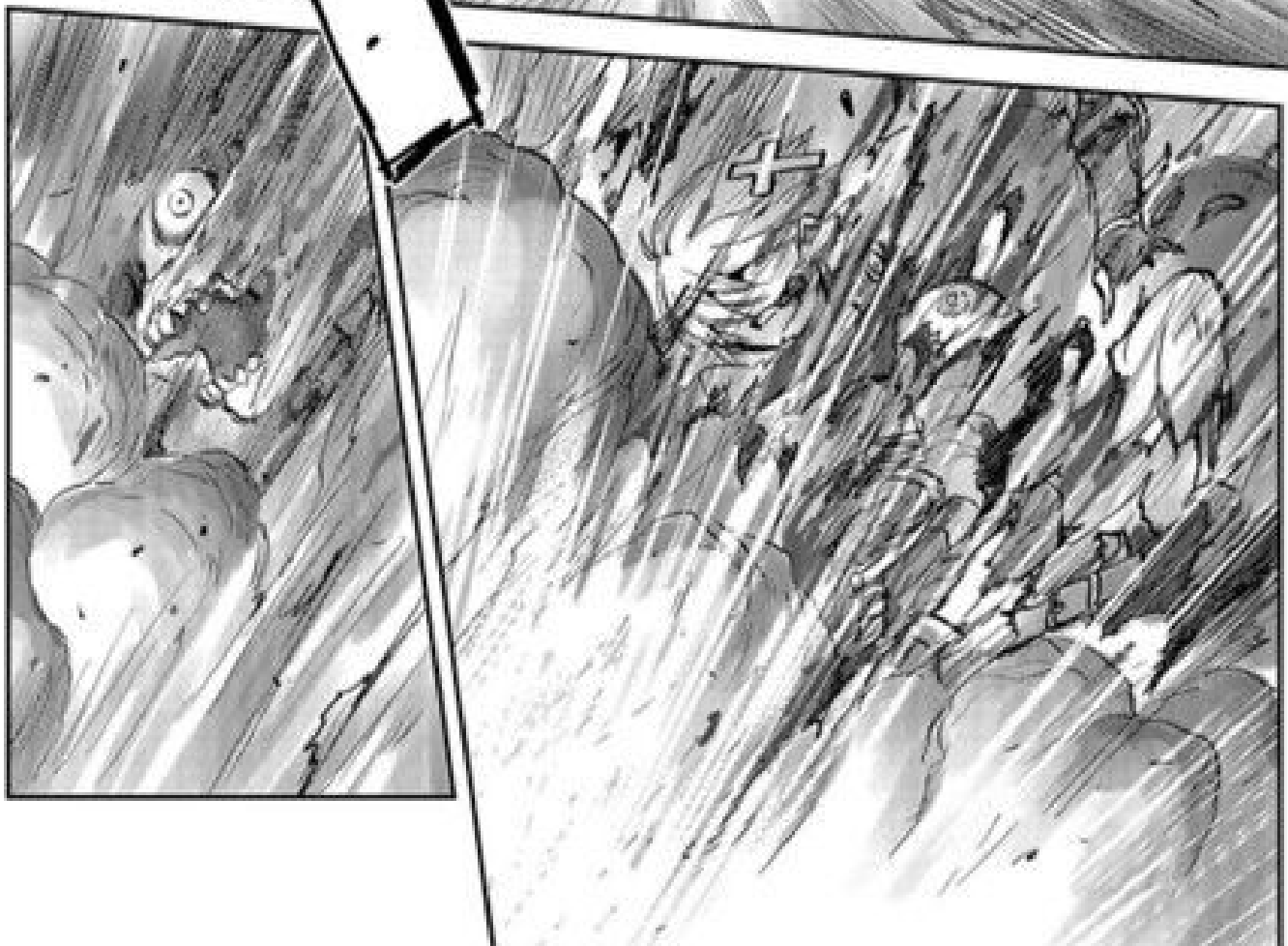
アンのとこの
娘さんじゃないか!

まさか…!!

オオカミの仕業
なのか!?

まだ副団長の
指名を受けて
間がないってのに…

働きをシャンヌ団長に
見てもらいた
かったな





ひどおい
兄様!!
顔はなし!!



カッ

カッ

僕らの国は
平和だった



もみ心地も
最高だぜえ

くっ！やめろ
ゲス野郎！

フフフ
何とでもほざけ

そのゲス野郎に
今から審判しに
されるんだからな！

ハマア

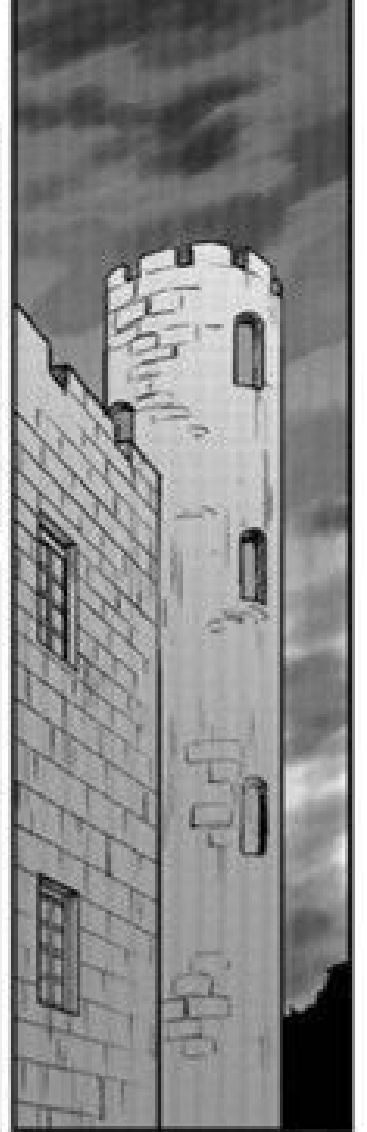
ん、あ

ビクッ

ヒリッ

ビクッ





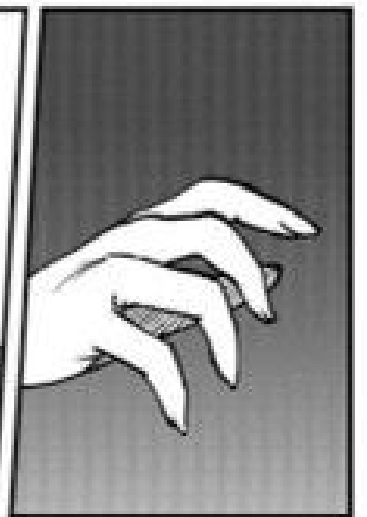
マチルダ研究室
扉はいつも開かれている



入るぞ
— マチルダ



マチルダ!





あんなことが
起きるまでは……



まさか

森の外へ
……!?



おれは
さあ
さあ
さあ

ママも心配して
るかもしれないし



うしろを
振り返れば
ない……

オオカミは
森から外へは
出ないはずなのだから
……



出立時間を
繰り上げるわよ！

でも…メイシーが
ここまでやるとは！
正直想像以上だった
かしら？





下半身が痺れて
感覚がない



みんなは…
そっか!もうみんなも…
なんでかな
これは想定外だよな



あ!
今なんか
流れ込んできた









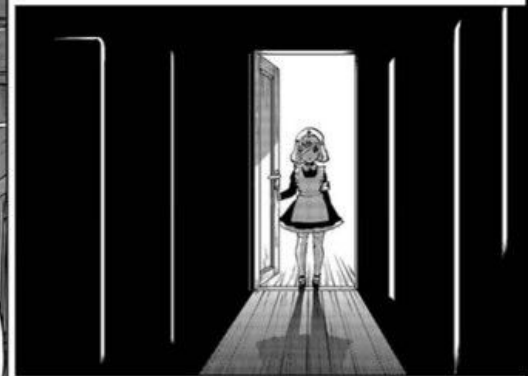


#22

紅頭巾少女 X

RED HOOD GIRL X









あああ...

ウツァー!!







まだ…暗い!?



待て…満月はどこへか過ぎたはず

…!!
これは…!!



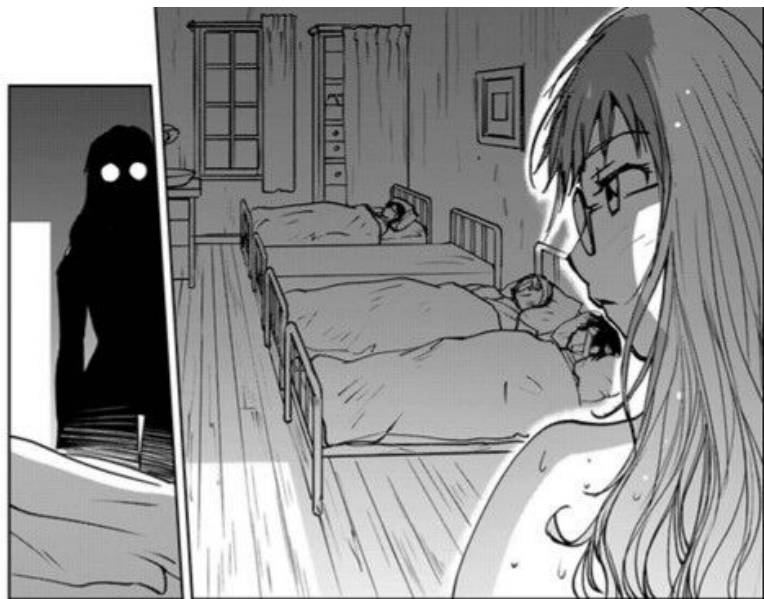
しまった!
僕だ!

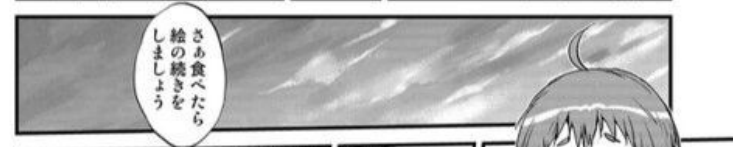
明るいと思ったのは
幻覚だ!



バカな!

月明かりを
夜明けと勘違いしたのか?







くははははは！
捕まえたぞ
ジャンヌ！

さあ
どうして
くたすのか



くくく…
次はその魅惑の乳首を
拜ませて頂こうか



おおお！
ぞくぞくする味だ！



右腕と…
— 頭が半分
無い!



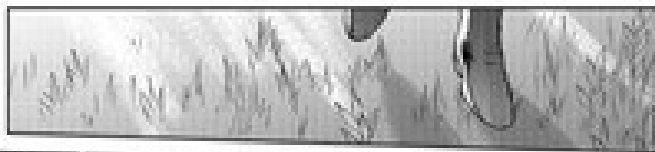
…ッ!
なんでこんな

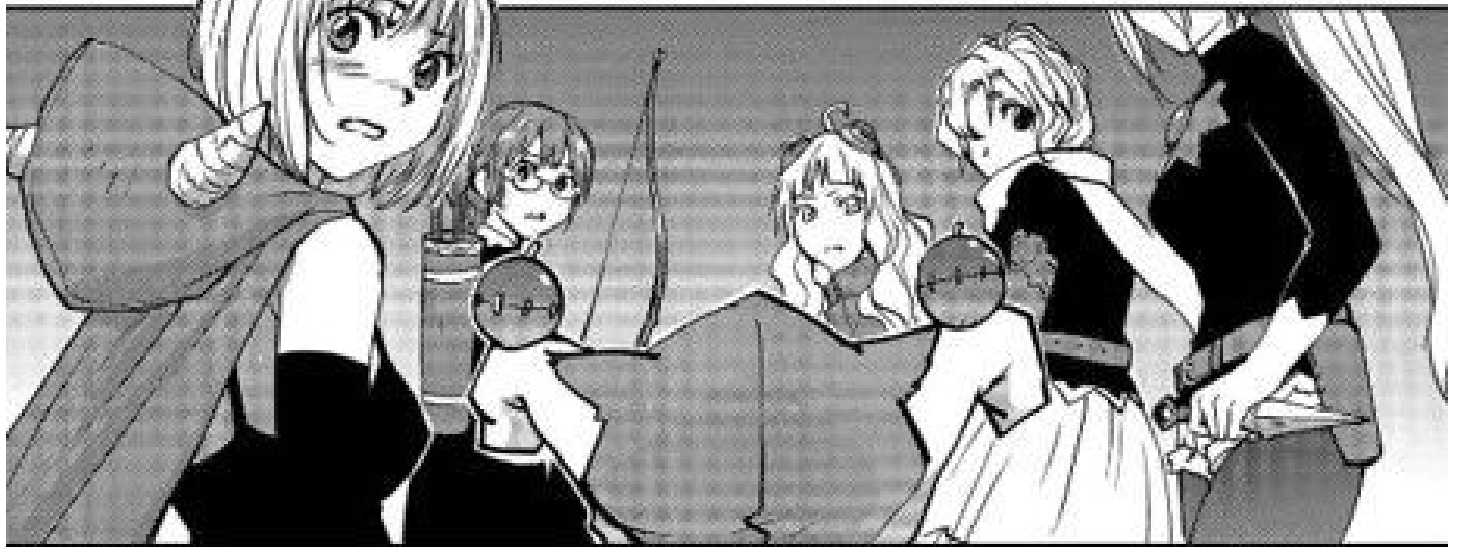
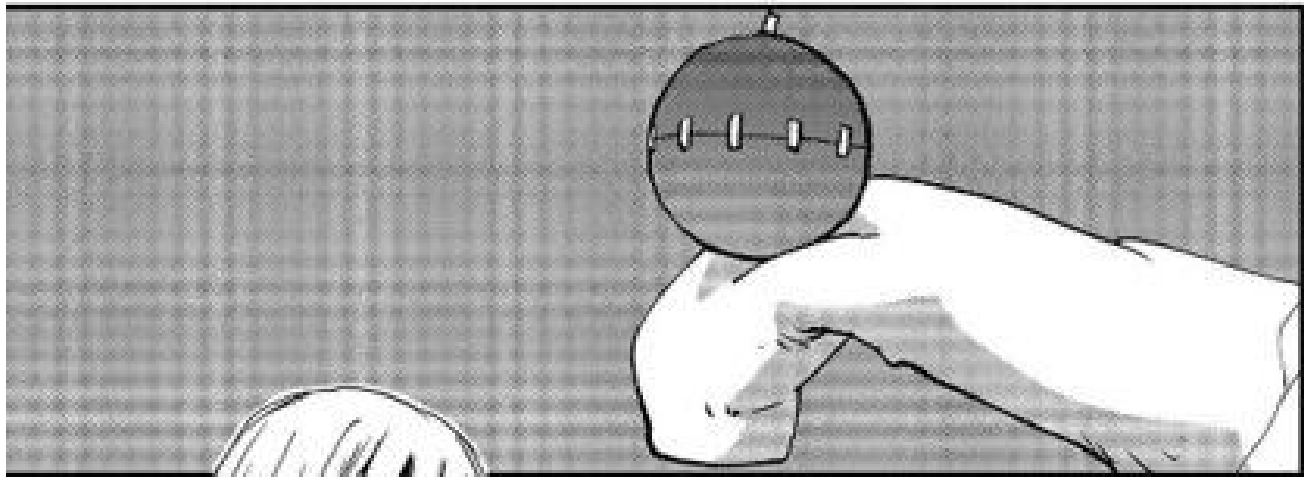












いざとなったら
これで……

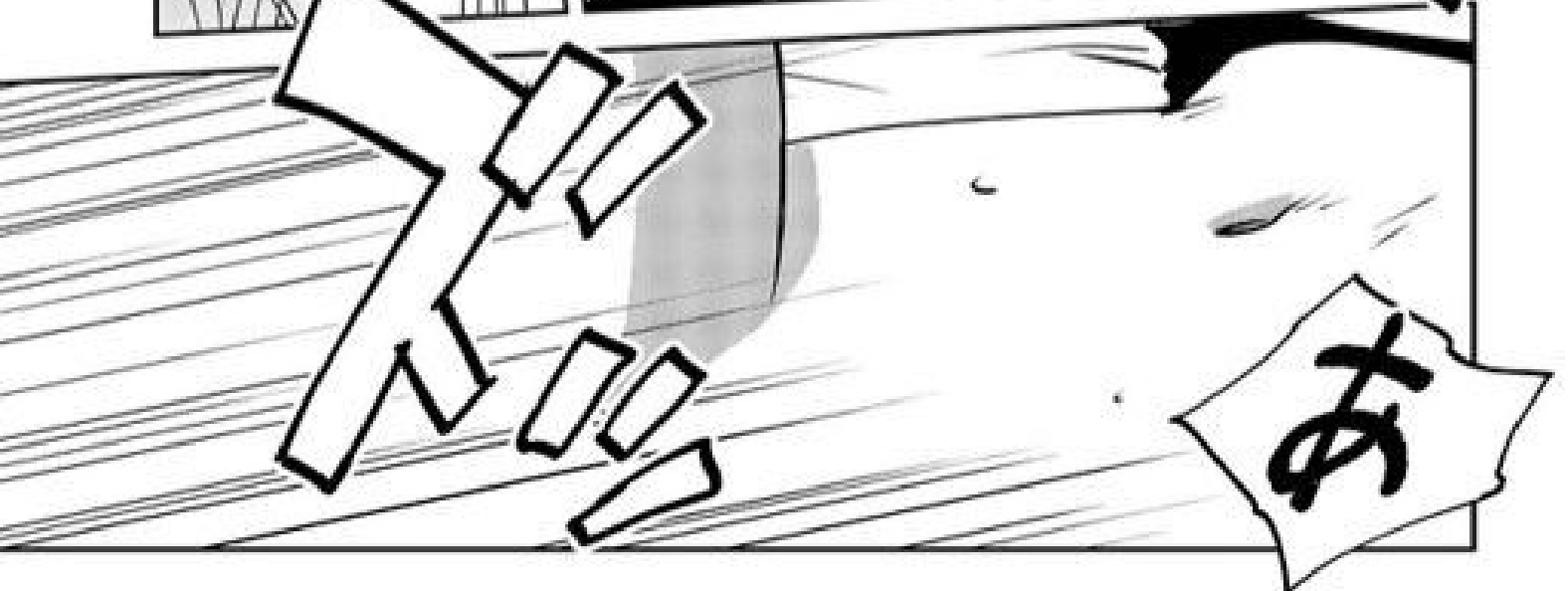


最後の手段
……



みんな
一つずつ……





















ふふふ
また会いましょう
赤ずきんちゃん



なんか妙だ



こつから森だ
みんな！
気を付けろ



ぶち込んでやる！



？



ほうら...
もう入るぞ！
わかるだらう？
D-D...



ほうら！

ズ
ズ
ズ



あれは5年も前の
ことになるのか…

俺が隣国への外交から
帰ったその日
王城は
地獄と化していたんだ



斬るしかなかった

…
自国の兵でも







じ…
じ…
じ…



曲!?



……
ワッハイー!



.....



クーデルカは...
知ってるよ



いや...
知っていた
かな

え？

クーデルカ女王

国内一の美貌で
国民の憧れの
存在



オレが殺した

死んだよ...
ん



あの男
……！

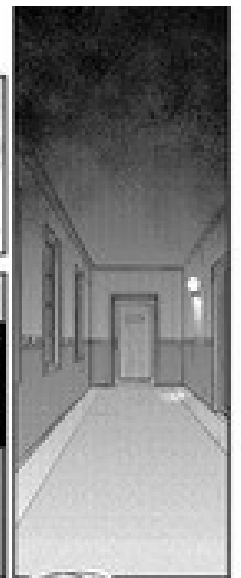
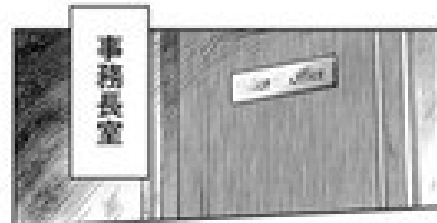
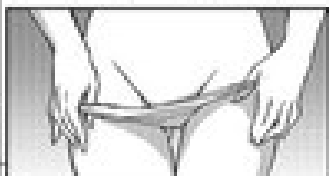
決して
許す訳にはいかない！！



あの女だけは許さない！
才しの右腕を奪った
あの女だけは！！

裸にして
体中を舐めまわして
犯して、最後に手足をもちで
動けぬペットにしてやる！！







ア、アハハ!!



ルリアア??!!





!!



ああああー！
う……産まれるー！
産まれるー！

ふん



ぎいゃ
あああ！



どう
じやー

ありが
と

アレ自体はまあ
シンプルに「死体の一部」
でしかないんだが…

ちなみにあれ
事務長のなんだ
っけ？



あんたが始末
したんだろ？



こいつはちよつと
アレだよ



ははは…いいさ
あんなクズ男

——アタシにもいろいろ
ネチネチ言い寄ってきてて
うざかったしねえ
むしろ皆が救われたさ
——それはともかく…



いざいざいざ!!











あの異形のモノたちが住む
悪魔の森に……!!!





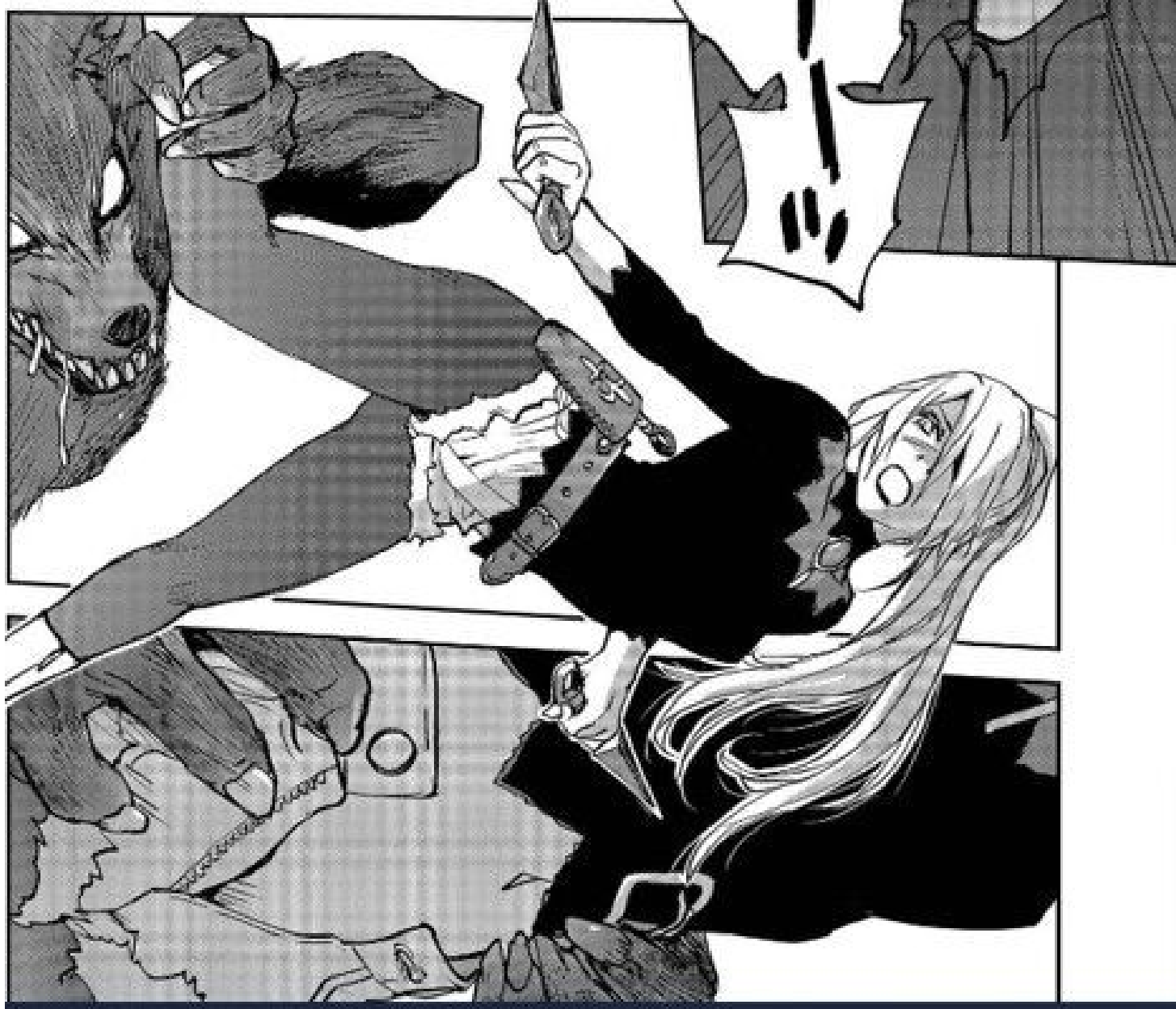






人じや
なくなつてたんだよ

クーデルカもね...





トリー
お前はいずれこの国の
首相になるのだ

わかってるよ
パパ

ミリーは？
ねえ、ミリーはあ？

お前は
そうだな…



パパの嫁は私！

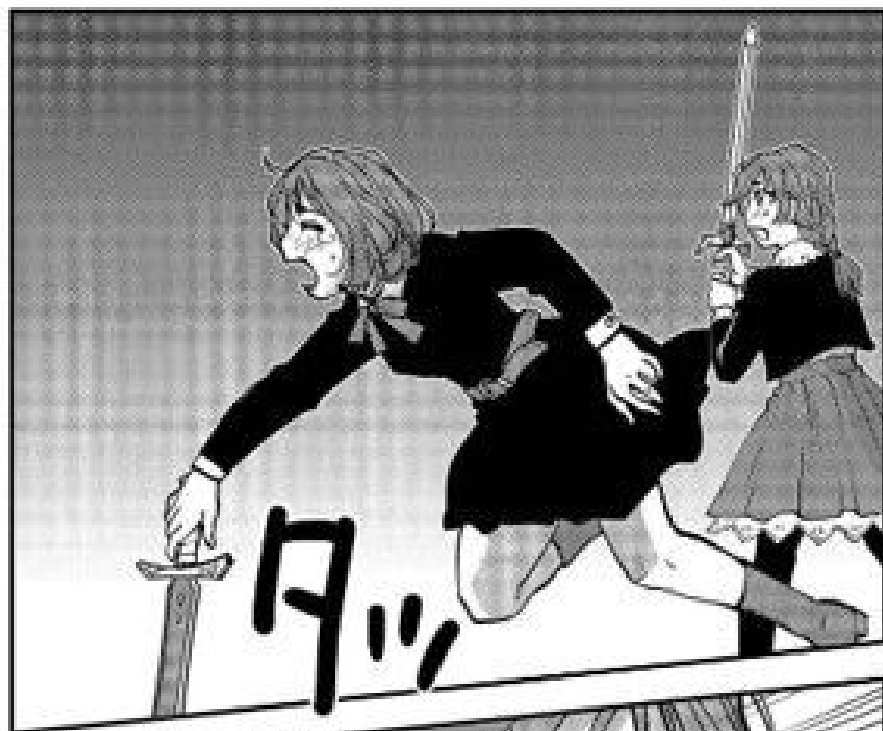
えー！



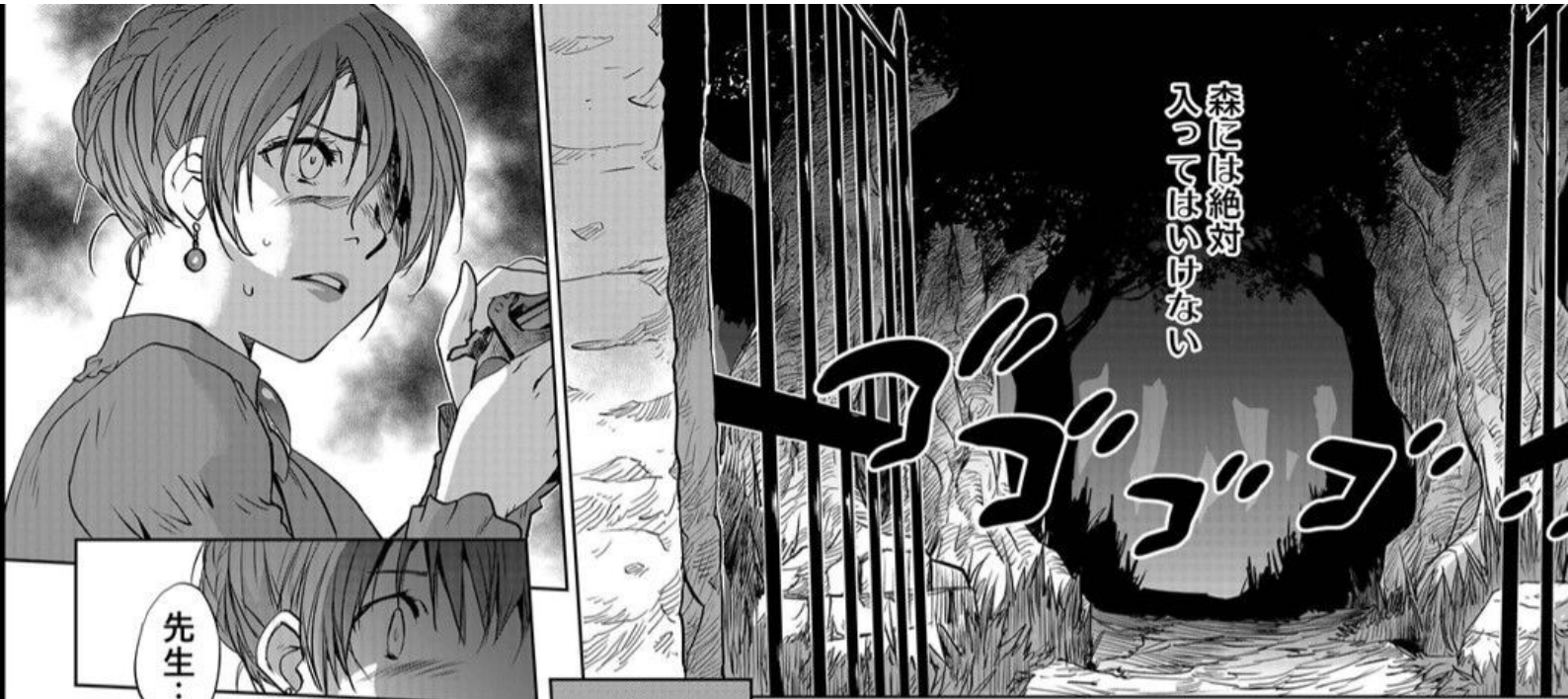
パパのお嫁さんだ！

わーい！
パパのお嫁さん
なるー！

馬鹿なこと
言わないで！







森には絶対
入ってはいけない

ゴゴゴ



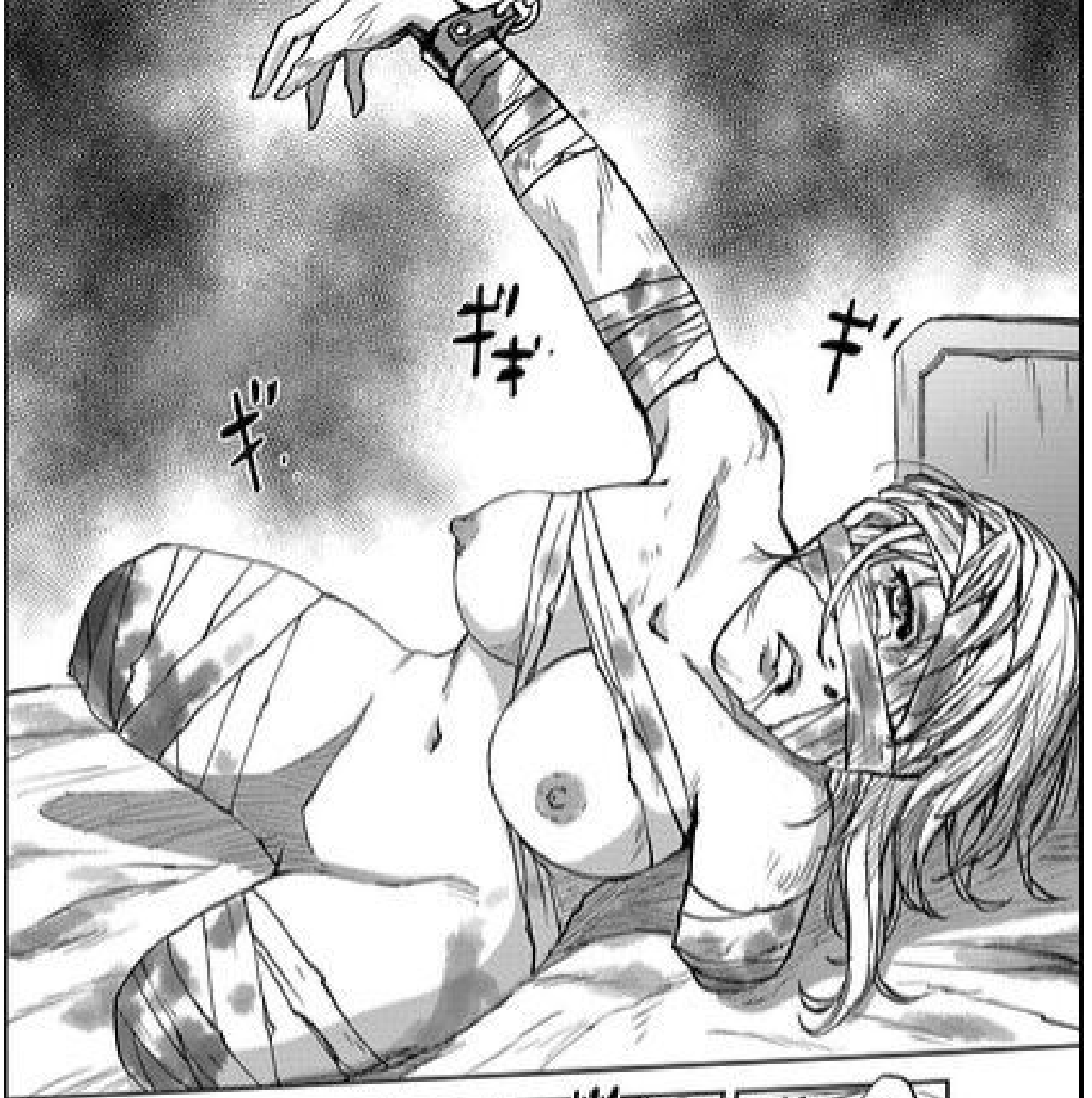
先生…



森には
悪いオオカミが
住んでいるから！



サクッ





そ…そうよ
ウツデイ！
私よ！



ウツデイ！
私よ！
マキルタよ！
—わかる!?



おおおお！
ま…ち…マキ
ル…タ！



RED HOOD GIRL X #11



アハハ!!

あ.



